

# BOOKS OF THE YEAR 2012 Vol.1

ことし一年間で、みなさんはどんな本に巡り会いましたか?南部町の図書館職員が、2012年に読んだ本の中から、特に印象に残った本を紹介しします。未読の方は、ぜひ読んでみてください。

## 『くちびるに歌を』

中田永一／小学館



覆面作家「中田永一」が、アンジェラ・アキの「手紙～拝啓十五の君へ～」に感動して書いたという小説。離島の中学校合唱部が舞台となり、コンクールに向けて葛藤しながら成長していくそれぞれの生徒をいとおしく感じます。(学校T)

## 『熱帯雨林のコレクション』

横塚眞己人／フレーベル館



個性的な動植物が力強く生きる熱帯雨林。カラフルで迫力のある写真は、眺めているだけでとても楽しい気持ちになります。読むと元気になれる、そんな本です。(公共T)

## 『盗まれたおとぎ話 少年冒険家トムI』

イアン・ベック／静山社



おとぎの国に住む冒険一家の末っ子トムは、ちょっぴり臆病者。一家の仕事はおとぎ話にふさわしい結末をつけること。トムが冒険の旅で活躍するところや、有名なおとぎ話にひねりが加わっているところなど、面白く一気に読んでしまいました!(公共I)

## 『おいで、一緒に行こう 福島原発 20キロ圏内のペットレスキュー』

森絵都／文藝春秋



「正しいのかわからない。でも放っておけない」その一心で立ち入り禁止区域に潜入し、犬や猫を救出しようとする人々を、作家である森絵都が描く。何が起きているのか見届けたい、伝えたいとの作家魂と、逆境の中で必死に活動するボランティアたちの魂の叫びが響きあう一冊。(学校N)

## 『Nのために』

湊かなえ／東京創元社



殺人事件の関係者が、一人ひとり語る形式で書かれています。次々と明らかになる真実は、読者だけが知ることとなり、切なさも感じてしまいます。いくつもの「Nのために・・・」が胸をうつ一冊です。(学校I)

## 『ワンス・アホな・タイム』

安東みきえ／理論社



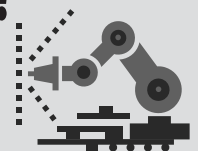
誰よりも自分が美しく強いと知っている王子さまや、ちょっと変わった王や王妃たちが出てきます。おとぎ話がモチーフとなっていて、楽しい一冊です。短編集なので気になった物語からどうぞ!(公共H)

★こちらに掲載の本はすべて町立図書館に所蔵しています。貸出中の本は予約ができますので、お気軽に図書館職員にお尋ねください。(注:ご紹介した本は、今年出版された本に限りません。)

### 電子工作講座

## ライトレースロボットをつくろう!!

白い紙のうえに描いた線にそって動くロボットをつくります。電子工作がはじめての人でも簡単にできるよ!みなさんご参加ください。



- と き / 12月16日(日)午後2時~午後4時(終了予定)
  - と ころ / 法勝寺図書館 2階読書室
  - 対 象・定員 / 中学生以上15名
  - 持 ち 物 / 工具(半田ごて、ニッパ)をお持ちの方はご持参ください。
  - 参 加 費 / 無料(事前の申込みが必要です)
  - 申 込・問 合 せ 先 / 法勝寺、天萬各図書館まで
- ※先着順で定員になり次第終了します。